

2023/1/24 (火)

朝の礼拝

聖書 ヨハネによる福音書 3章8節 (新約聖書167頁)

風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない。霊から生まれた者も皆そのとおりである。

祈る

赤ちゃんはお腹が空いた、眠い、排便、不安や恐れなど快いか不快かが基準で反応してくれます。やがてお母さんが笑うと嬉しくなったり、兄弟姉妹がけんかして怒ったり泣いたりするのを見て、何がいいことで悪いことかを感じ、自分で主張するようになります。

やがて外へ出てお日様、雨、風から季節を感じ、そして幼稚園や学校へ進み、自転車に乗るなどして社会にさまざまな約束があるのがわかります。そして友だちと学び、遊び、また読書、音楽、映画などから心が揺さぶられ、考え、善悪を判断するようになります。

ところが不思議なことに、年齢を重ねれば重ねるほど知識や技術などを身につけ経験を重ねるのに、それをどう使えばいいのか、何もできないこともあるのがわかります。そして自分自身も将来どう生きてらいいのか迷うこともあるのです。

「風は思いのままに吹く」「霊から生まれた者もみなそのとおりである」とありました。風が吹く、霊から生まれるとは祈ることです。赤ちゃんはお祈りできませんが、神様はいのちを授けて下さいます。だから私たちはなおさら神様に信頼し必要なものを祈り求めましょう。

(しばらく黙祷しましょう)

すべての知恵の源である主よ、あなたはわたしたちが求める前から必要なものを知り、どう祈ればよいかわからないわたしたちを助けてくださいます。どうか弱いわたしたちを憐れみ、あえてわたしたちが願わないもの、また心が暗いために願うことができないものを与えてください。いま記録的な大寒波が近づく予報があります。豪雪が予想されている地域だけでなく日頃温暖な地域でも、暖かくしゆとりを持って安全に心がけ、特に幼子やご高齢の方、健康に不安のある方々に必要な支えがあるように導いてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン